



好奇心って、
引力だ。



結果報告書

—Final Report—

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

ロボットテクノロジージャパン

期間

2026.6.11^{THU} > 13^{SAT}

開催場所

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

開催時間

10:00～17:00

入場料

大人1人 1,000円

ただし、公式ウェブサイトからの事前登録者、海外来場者、学生は無料

【主催】株式会社 **ニュースダイジェスト社** 【共催】愛知県機械工具商業協同組合

ROBOT
TECHNOLOGY
JAPAN 2028

次回開催予定

2028年 7月

問い合わせ先

RTJ事務局 (株)ニュースダイジェスト社 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3
Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457 Email: info@robot-technology.jp



開催概要

ご挨拶

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026は、2026年6月11日(木)から13日(土)の3日間、Aichi Sky Expoにて開催され、皆様の格別のご協力、ご支援により盛況に閉幕いたしました。

出展者数は272社・団体、1,378小間で、Aichi Sky ExpoのホールD、E、Fを使用しました。来場者数は前回展の46,405人を超える47,107人と多くの来場者をお迎えすることができました。

今回のROBOT TECHNOLOGY JAPANは、2028年7月にAichi Sky Expoで開催する予定です。より一層内容を充実させるべく努力して参りますので、さらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合



名 称	ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026 (略称:RTJ2026)
会 場	Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
開 催 期 間	2026年 (令和8年) 6月11日 (木) ~13日 (土) の3日間
開 場 時 間	10:00~17:00 ※最終日13日(土)は16:00まで
入 場 料 金	1人1,000円 / 団体10人以上1人500円 (いずれも消費税込) ただし、事前登録者、海外来場者、学生は無料
主 催	株式会社ニュースダイジェスト社
共 催	愛知県機械工具商業協同組合
後 援	経済産業省、愛知県 (順不同)
協 賛	(一社) 日本ロボット工業会、(一社) 日本ロボットシステムインテグレータ協会、(一社) 日本工作機械工業会、(一社) 日本工作機器工業会、(一社) 日本フルードパワー工業会、日本精密測定機器工業会、日本工作機械販売協会、(一社) 日本物流システム機器協会 (順不同)
出 展 製 品	垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR/AGF、ドローン、ヒューマノイド、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など ※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外
出 展 製 品 の 用 途	溶接、研磨、ハンドリング、検査、塗装、バリ取り、搬送、特殊作業、成形品取り出し、組み立て、はんだ付け、パワーアシスト、包装、洗浄、ピッキング、生産効率向上・省人化関連システム など
展 示 規 模	出展者数 272社・団体 / 出展小間数 1,378小間
来 場 者 数	47,107人
セ ミ ナ ー 主 催 企 画 併 催 イベント	●基調講演 6/11(木) ロボット化・自動化が当たり前の時代に ●併催イベント 6/12(金) ロボット活用スタートガイド 6/12(金) ロボットに命を吹き込む仕事 ●特別セミナー 6/13(土) 国産ヒューマノイドロボットの可能性 ●6/12(金) robot digest 公開取材 ●6/13(土) ロボット体験ツアー ●産業用ロボット体験ゾーン



展示規模と出展分野



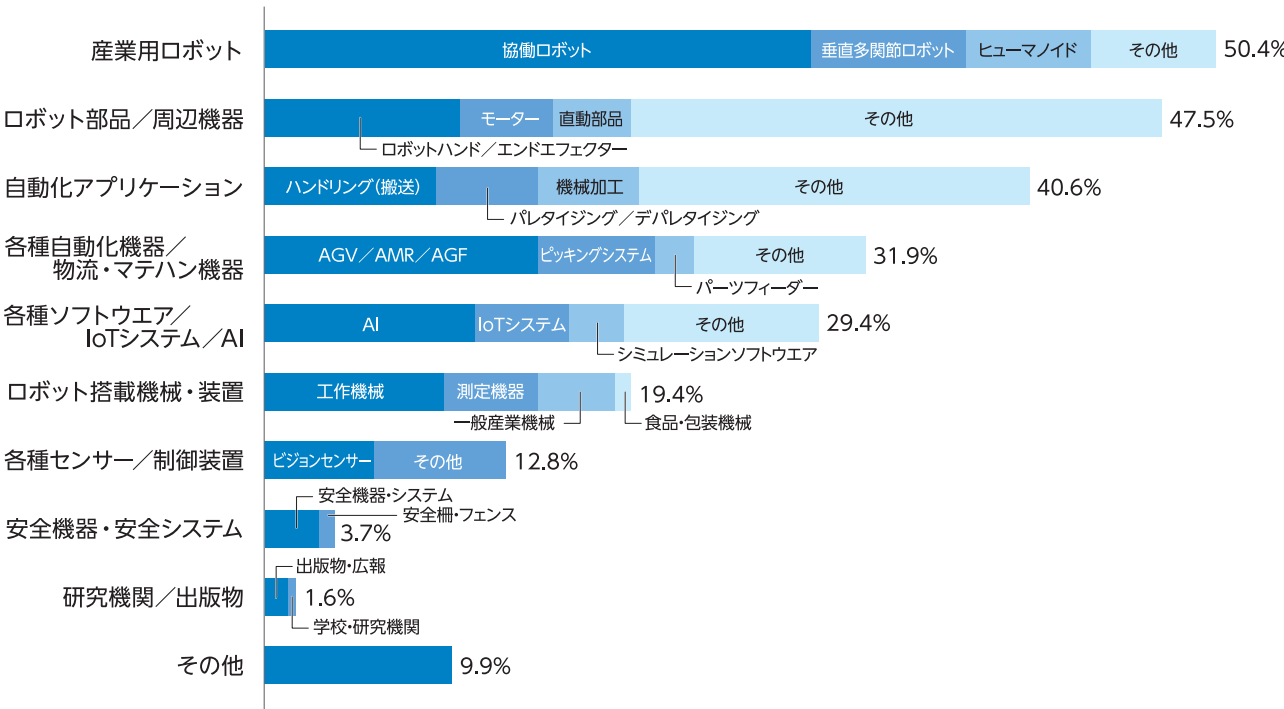
来場者について

展示規模

展示会場はホールD・E・Fを使用し、272社・団体、1,378小間での開催となりました。

	2022	2024	2026
出展者数	202	244	272
出展小間数	1,096	1,320	1,378

展示分野別割合



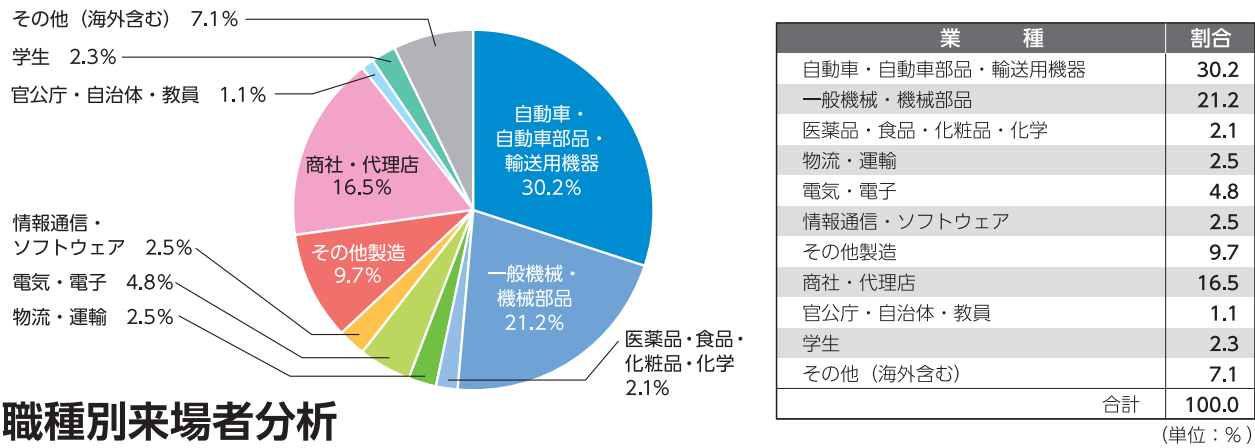
分 野	割合
産業用ロボット 協働ロボット 28.9%、垂直多関節ロボット 8.3%、ヒューマノイド 6.6%、その他 6.6%	50.4
ロボット部品／周辺機器 ロボットハンド／エンドエフェクター 10.3%、モーター 5.0%、直動部品 4.1%、その他 28.1%	47.5
自動化アプリケーション ハンドリング(搬送) 9.1%、パレタイジング／デパレタイジング 5.4%、機械加工 5.4%、その他 20.7%	40.6
各種自動化機器／物流・マテハン機器 AGV／AMR／AGF 14.5%、ピッキングシステム 6.2%、パーツフィーダー 2.1%、その他 9.1%	31.9
各種ソフトウェア／IoTシステム／AI AI 11.2%、IoTシステム 5.0%、シミュレーションソフトウェア2.9%、その他 10.3%	29.4
ロボット搭載機械・装置 工作機械 9.5%、測定機器 5.0%、一般産業機械 4.1%、食品・包装機械 0.8%	19.4
各種センサー／制御装置 ビジョンセンサー 5.8%、その他 7.0%	12.8
安全機器・システム 安全機器・システム 2.9%、安全柵・フェンス 0.8%	3.7
研究機関／出版物 出版物・広報 1.2%、学校・研究機関 0.4%	1.6
その他	9.9

※出展者が選択した展示分野をもとに集計しています。複数選択が可能なため、割合の合計は100%になりません。(単位：％)

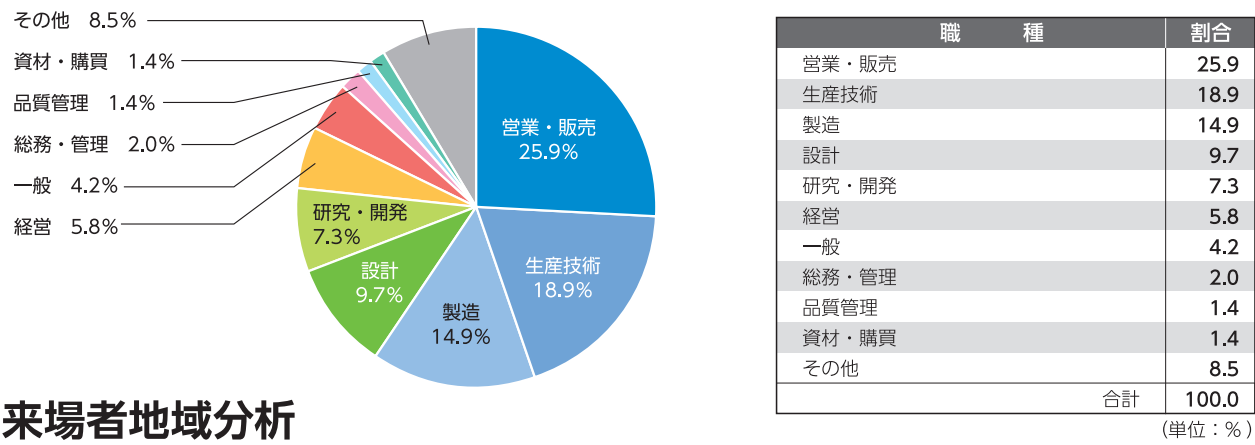
来場者数

日 目	月 日 (曜)	天 候	合 計 ※括弧内は前回展実績
1	6/11 (木)	晴れ	15,851人 (16,513人)
2	6/12 (金)	晴れ	21,563人 (20,782人)
3	6/13 (土)	晴れ	9,693人 (9,110人)
合 計			47,107人 (46,405人)

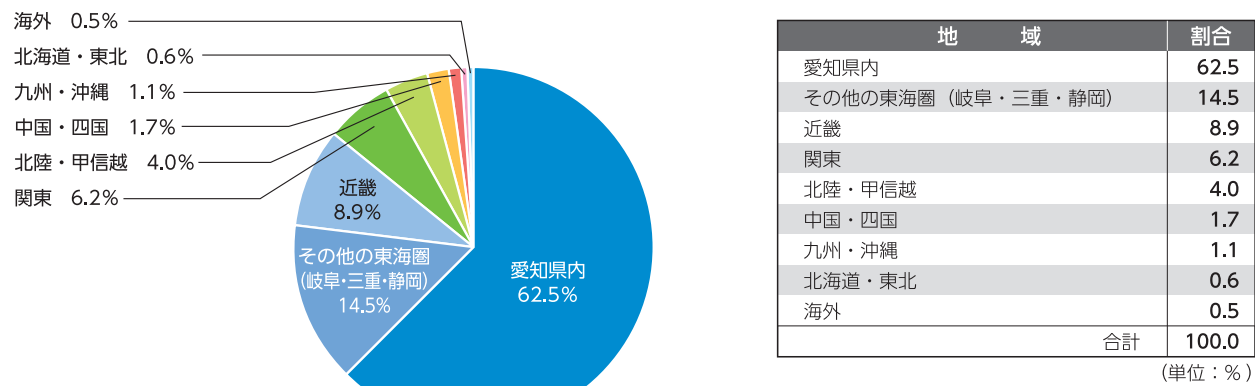
業種別来場者分析



職種別来場者分析



来場者地域分析





来場者アンケート

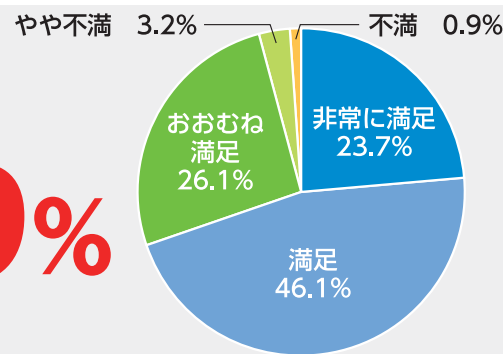


出展者アンケート

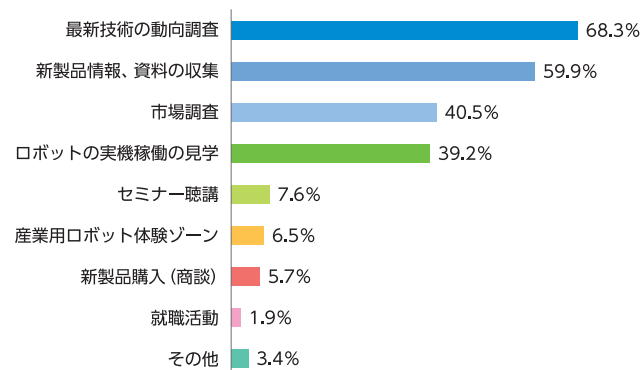
展示会の満足度について (回答数3,563人)

「非常に満足」
「満足」
「おおむね満足」が

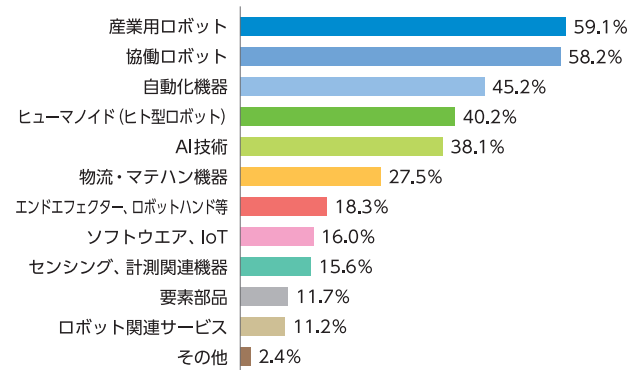
95.9%



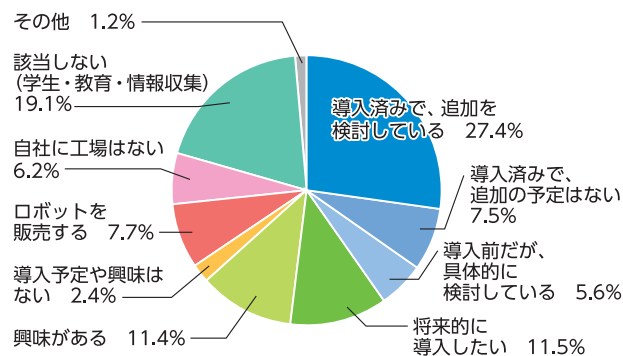
ご来場の目的を教えてください(複数回答)



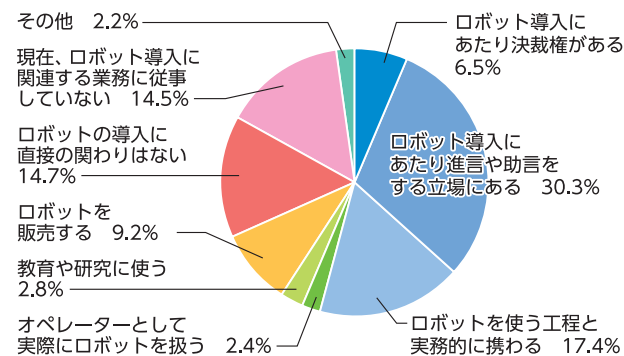
どの製品に興味があり来場しましたか(複数回答)



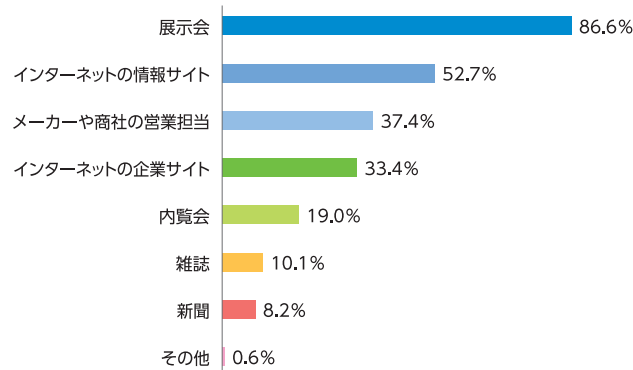
勤務先の工場や研究所での産業用ロボットの導入状況を教えてください



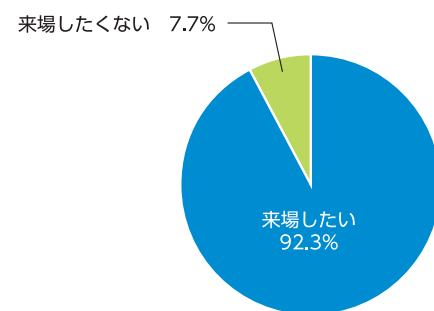
ロボットの導入に関してあなたの立場を教えてください



機械設備の情報収集方法を教えてください(複数回答)



次回展に来場したいですか

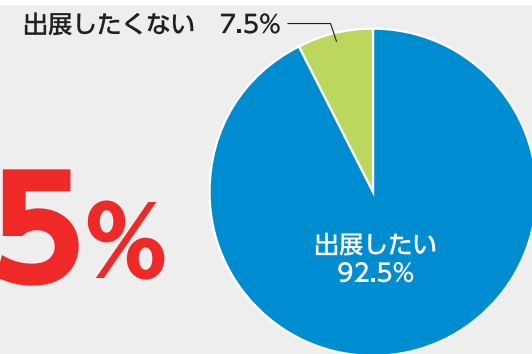


次回出展について (回答数205社)

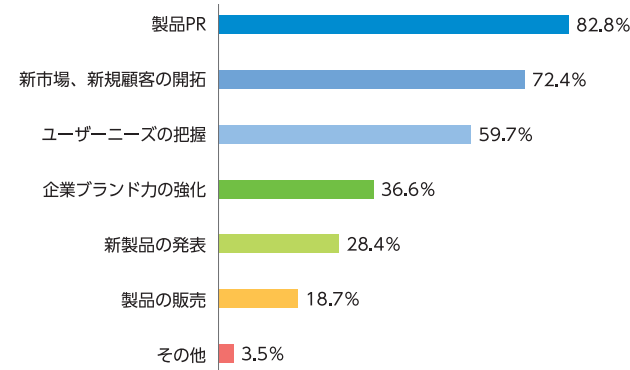
次回のRTJ2028に出展したいですか？

「出展したい」が

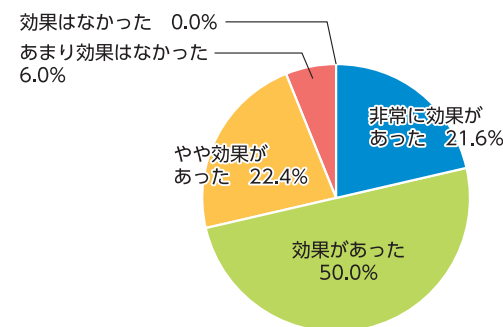
92.5%



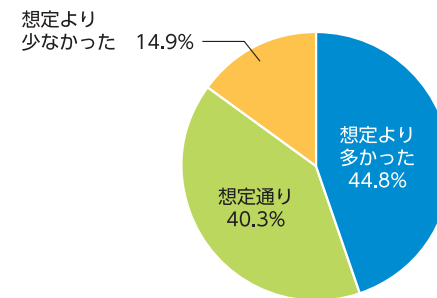
本展への出展目的は何ですか(複数回答)



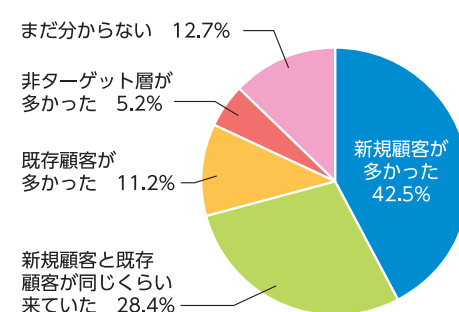
出展によるPR、販売促進効果はありましたか？



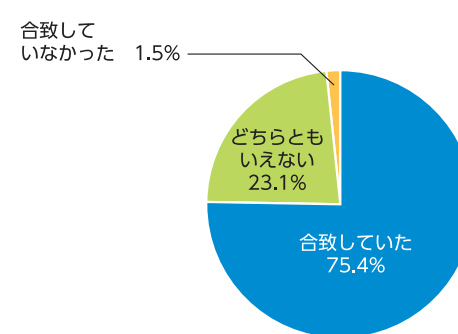
貴社ブースへの来場者数は実際の想定と比べていかがでしたか



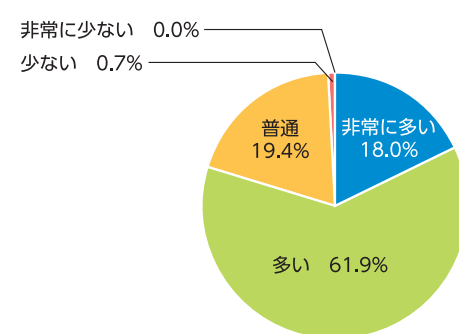
貴社ブースを訪れた来場者層を教えてください



来場者は貴社の対象に合致していましたか



全体の来場者数についてどう評価されますか





開会式／主催者セミナー・企画／併催イベント

開会式

日時／6月11日(木) 9:30～10:00 会場／展示ホールD メインステージ



登壇者／愛知県 副知事

経済産業省 製造産業局
産業機械課 ロボット政策室長

日本ロボット工業会 副会長

デンソーウェーブ 代表取締役社長

ニュースダイジェスト社 代表取締役社長

愛知県機械工具商業協同組合 理事長

古本 伸一郎 様

石曾根 智昭 様

山口 賢治 様

相良 隆義 様

八角 秀

高田 研至

主催者セミナー

会場／展示ホールD メインステージ

6.11 基調講演 「ロボット化・自動化が当たり前」の時代に」 < THU >

ロボット化や自動化が当たり前になる時代は、もう目の前です。ロボットメーカーや物流機器メーカー、ロボットユーザーのそれぞれの領域のフロントランナーが、見据える自動化のビジョンを語りました。

講演① 13:00～14:00

人手不足の課題解決に向けた
自動化への取り組みと
オープンプラットフォームによる
フィジカルAIの加速

登壇者
ファナック
常務執行役員ロボット研究開発統括本部長
兼 ロボット機構研究開発本部長
兼 ロボットアプリケーション技術本部長
安部 健一郎氏



講演② 14:15～15:15

完全自動化
ソリューションと課題

登壇者
ダイフク
ビジネスイノベーション本部
副本部長
浮須 賢一氏



講演③ 15:30～16:30

技術革新と生産現場での
成熟度向上
—安全性と成立性の両立

登壇者
ボーイングジャパン
ボーイング・テクノロジー・イノベーション・ジャパン
ロボティクス&オートメーテッド・プロダクション・
システム・エンジニア
松尾 大介氏



6.13 特別セミナー 「国産ヒューマノイドロボットの可能性」 < SAT >

ヒューマノイドロボットの開発が進んでいるのは、米国や中国だけではなく、日本のヒューマノイドロボットも実はすごいんです。国産ヒューマノイドロボットの可能性の大きさを感じる2つのセミナーを実施しました。

セミナー① 10:30～11:15

トヨタ自動車未来創生センターが
取り組むヒューマノイドロボット開発について

登壇者
トヨタ自動車
未来創生センター R-フロンティア部
ヒューマノイドロボット研究領域
リサーチリーダー
野見 知弘氏



セミナー② 11:30～12:15

人と一緒に働くヒト型ロボットの開発と展望
～なぜカワダはヒト型ロボットをつくり続けるのか?～

登壇者
カワダロボティクス
取締役会長
川田 忠裕氏



主催企画

6.11▶6.13 産業用ロボット体験ゾーン < THU > < SAT > 会場／展示ホールF 産業用ロボット体験ゾーン

各種ゲームや体験を通して産業用ロボットへの理解を深めてもらうためのコーナーです。パズルの組み立てやバスケットボールのシュートなど、人間と同等以上に考え、動くロボットの魅力を体験していただきました。

① AIバスケットロボ「CUE」

協力：トヨタ自動車

② 人型双腕ロボット「NEXTAGE」

協力：カワダロボティクス

③ ロボット操作演習機「デジタルトレーナー」

協力：三井物産

④ ロボット実習体験装置「ロボトレナー」

協力：パイナス

⑤ ロボットとパズル組み立て競争

協力：豊電子工業

⑥ ロボット操作で文字探索ゲーム

協力：スターテクノ

⑦ ロボットさじ投げ対決

協力：近藤製作所

協力団体：中部地域Sler連携会
日本ロボットシステムインテグレータ協会



6.12 robot digest 公開取材 15:00～15:45 < FRI > 「先進ユーザー3社と語る、“失敗しない”ロボット導入のコツ」

これまで多数のロボット導入事例を発信してきたウェブマガジン「robot digest」が、RTJ2026で「公開取材」を実施しました。登壇したのは現役記者と、ロボット導入に成功した中小製造業3社。導入成果や失敗を防ぐノウハウなど、ロボットユーザーだからこそ語れる“リアルな声”をお届けしました。

登壇者	山田製作所・山田英登社長
	カトウ・加藤欣吾社長
	スザキ工業所・鷲崎圭一郎取締役 経営戦略部長
ファシリテーター	robot digest 編集部・桑崎厚史



併催イベント

6.12 ロボットをうまく導入し活用するには、最初が肝心です。愛知県は、具体的な導入事例をセミナー形式で紹介しました。日本ロボットシステムインテグレータ協会は、会員Slerの各々の提案の特徴や得意とする自動化ジャンルなどを披露しました。 < FRI > 会場／展示ホールD メインステージ

① 10:30～12:30

主催：愛知県

ロボット活用スタートガイド
～事例で学ぶ導入のコツ～



② 13:30～16:30

主催：日本ロボットシステム
インテグレータ協会

ロボットに命を吹き込む仕事
～ロボットシステム インテグレータの紹介



6.13 ロボット体験ツアー < SAT >

第1部/9:30～12:00 第2部/13:30～16:00 主催：常滑市

常滑市在住の小学生とその保護者40組80名を招待して展示会場の見学ツアーを開催しました。産業用ロボットの使われ方や、ヒューマノイドロボットの可能性など、実際に展示されたロボットを見ながら楽しく学んでいただきました。





来場促進に向けた活動（パブリシティ・掲載誌・広報・宣伝）

宣伝広告

●新聞、雑誌、ウェブなどの広告媒体への出稿

数多くの有力な産業誌をはじめ、全国誌や業界誌などに幅広く掲載しました。

新聞 広告			
掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
5/10	日本物流新聞	5/28	日刊工業新聞
5/17	名古屋機工新聞	5/29	日本経済新聞（中部）
5/19	中部経済新聞	6/3	日本経済新聞（中部）
5/20	日本産機新聞	6/4	中部経済新聞
5/20	中部機工新聞	6/4	日刊工業新聞
5/21	日刊工業新聞	6/10	中部経済新聞
5/25	日本物流新聞	6/10	中日新聞
5/26	中部経済新聞	6/10	日本経済新聞（中部）

雑誌 広告	
掲載日	媒体名
5月号	日工販 NEWS
5月号	ロボット（ロボット工業会機関誌）
5月号	月刊食品工場長
5月号	月刊ロジスティクス・ビジネス
5月号	日経ものづくり
5/15	P&M 通信（日本包装機械工業会機関誌）

WEB 広告	
掲載日	媒体名
4/20～6/11	Google検索/ディスプレイ広告
4/20～6/11	Instagram/facebook リール広告
4/20～6/11	YouTubeショート広告
4/28～6/11	YouTubeインストリーム/ディスカバリー広告
5/25～6/10	日経電子版 ディスプレイ広告

●交通広告やテレビCM、Youtube広告

テレビCMや交通広告、Youtube広告などでも積極的にPRをしました。

電 波 広 告	
テレビ	ラジオ
東海テレビ CBCテレビ メ〜テレ 中京テレビ テレビ愛知	東海ラジオ CBCラジオ FM愛知 ZIP-FM



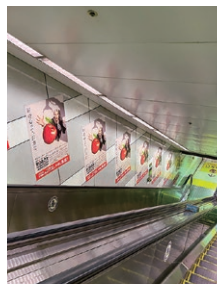
公式プロモーション CM

You Tube
再生回数 **610,023回**
(2026年4月27日～6月13日)

交 通 広 告	
掲載場所	
スクエアビジョン(名古屋市営地下鉄 名古屋/金山駅)	
J・ADビジョン(名古屋駅地下通路)	
デジタルサイネージ(名鉄名古屋駅)	
エスカレーター側壁広告(金山駅)	
中吊広告(名鉄全線)	
中吊広告(JR東海道本線/中央本線/関西本線/武豊線)	
中吊広告(愛知環状鉄道)	
駅貼広告(JR刈谷駅)	
駅貼広告(愛知環状鉄道 三河豊田駅)	



【名鉄名古屋駅デジタルサイネージ】



【金山駅エスカレーター側壁】



【日刊工業新聞】



【日経電子版ディスプレイ広告】

メディアによる紹介

会期前の広告のみならず、多くのメディアがROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026の特集記事を掲載しました。会期中には愛知県のテレビニュース番組やラジオでも紹介されました。



【月刊生産財マーケティング2026年6月号】



【日刊工業新聞】2026年6月10日



【中部経済新聞】2026年6月11日

公式ウェブサイト

公式ウェブサイトでは、出展募集活動や出展企業製品情報の発信、最新情報の発信などをしました。また、オフィシャルメディア「robot digest」とコラボし、会場の最新情報や見どころをいち早くお届けする「会場速報」を配信しました。



【公式ウェブサイト】

公式ウェブサイト
アクセス数
1,452,200件
(2026年4月20日～6月13日)



【会場速報】



公式印刷物による紹介

会期前には、「開催案内セット（招待券、パンフレット）」としてダイレクトメールを送付し集客に注力。会場では、出展者一覧や出展製品情報を掲載した「公式ガイドブック」、「FLOOR MAP」を配布しました。



招待券



公式ガイドブック



FLOOR MAP



公式パンフレット

メールマガジンの配信

ROBOT TECHNOLOGY JAPANとメカトロテックジャパンの過去の来場者を対象としたメールマガジンを配信。また、各種媒体と連携しメルマガ広告を出稿し、公式ウェブサイトへの誘引を図りました。

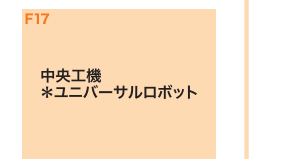
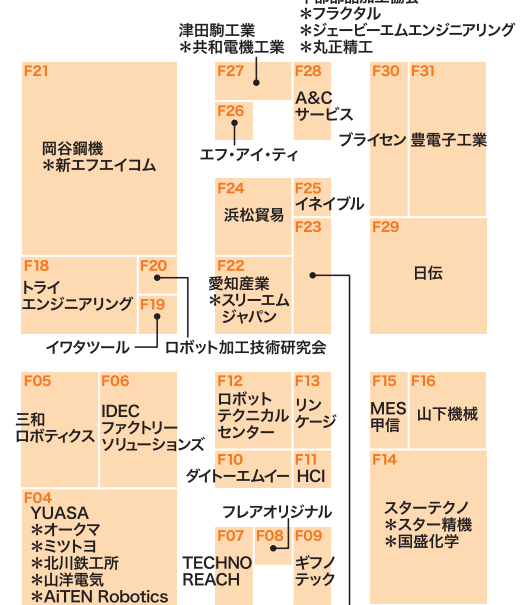
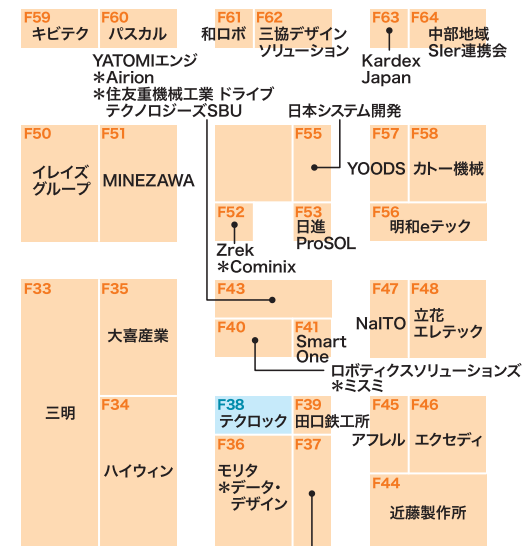
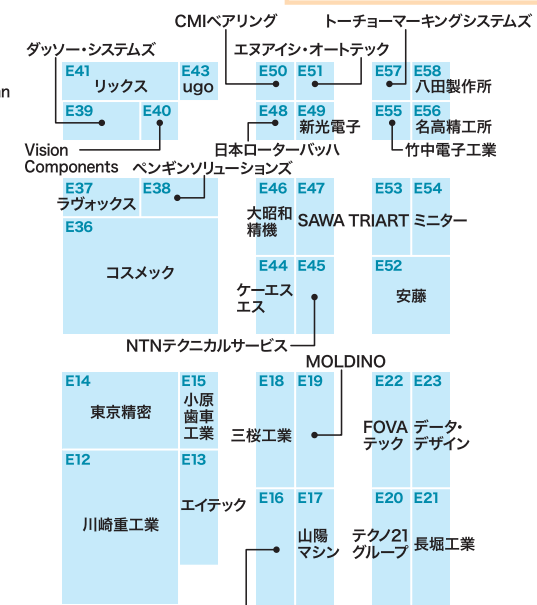
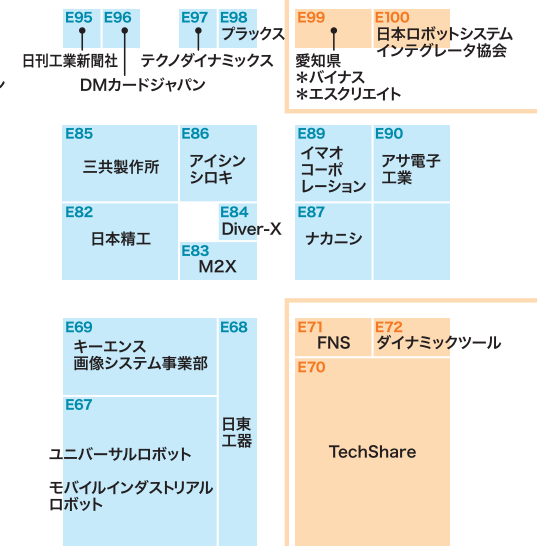
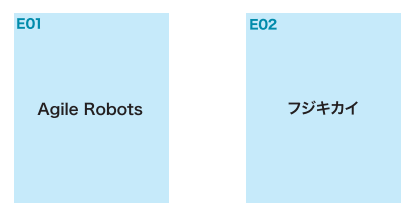
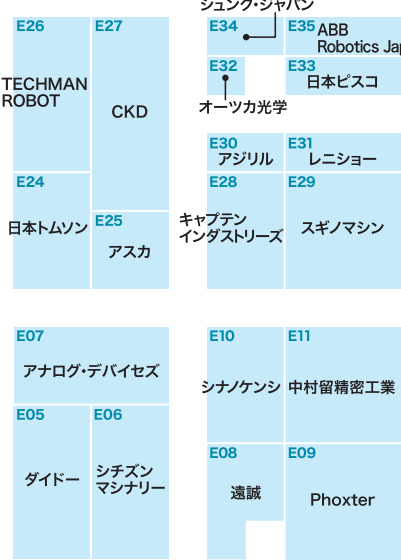
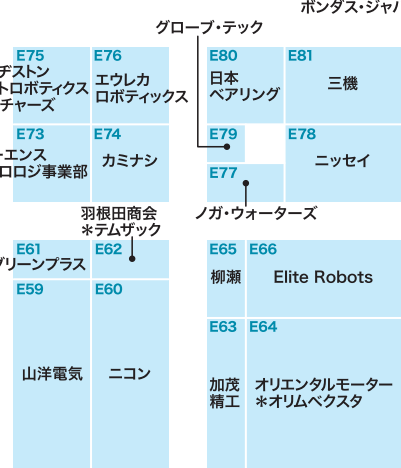
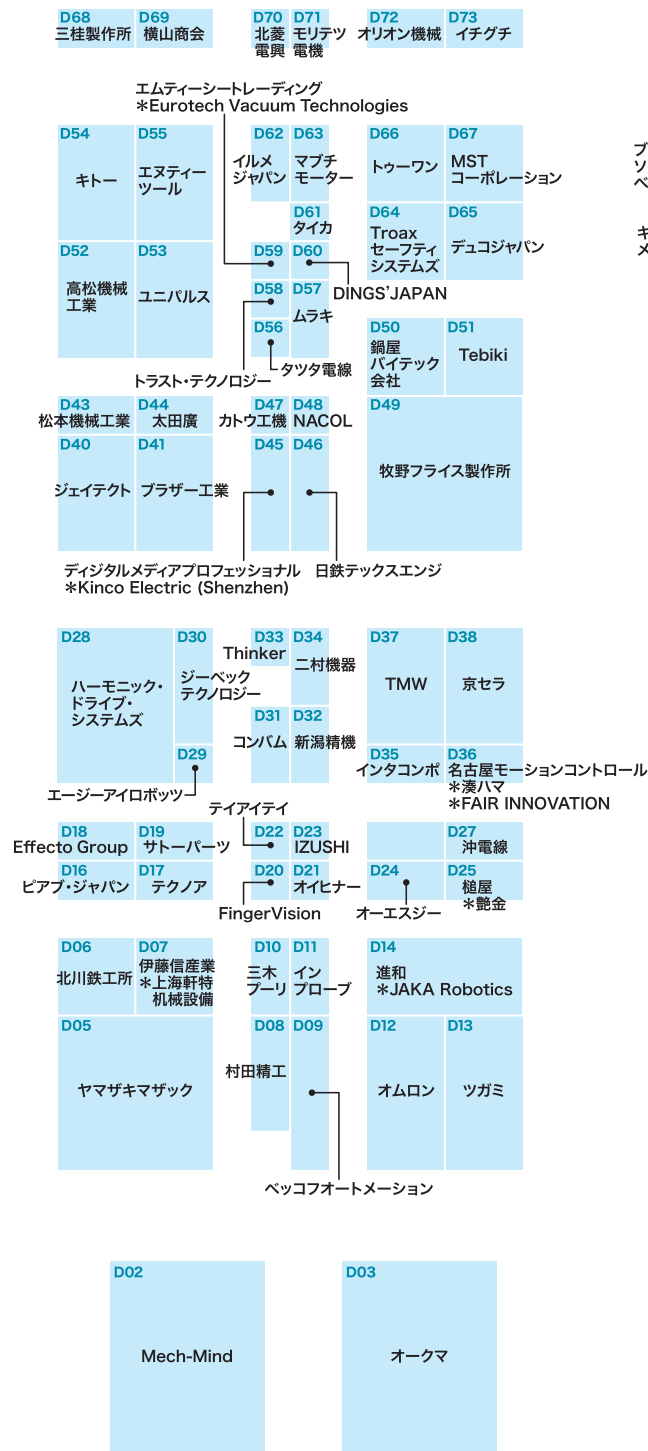
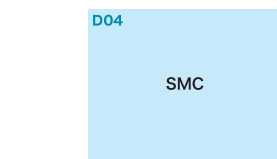
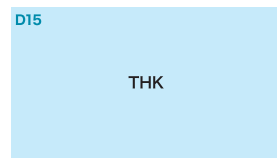
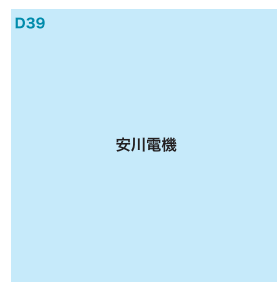
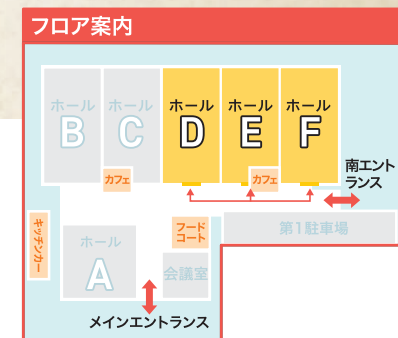
主なメルマガ・メルマガヘッダー 広告	
配信日	媒体名
5/19	LNEWS
5/19	MONOist FA メールマガジン
5/27	LNEWS
5/27	日経ものづくり NEWS
5/29	日経クロステック 自動車・電機メール
6/4	LNEWS

RTJ公式メールマガジン (3/23～6/12)	
読者数	142,515人
配信回数	23回
総配信数	3,113,848通

展示ホールD

展示ホールE

展示ホールF





出展者一覧 (社名50音順)

Slerゾーン

出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号
あ		カトー機械	F58	津田駒工業	F27	FOVAテック	E22
アイエイアイ	F32	カミナシ	E74	* 共和電機工業	D27	Phoxter	E09
アイシンシロキ	E86	加茂精工	E63	榎屋	D25	フジキカイ	E02
愛知県		川崎重工	E12	* 艶金		二村機器	D34
* バイナス	E99	キーエンス 画像システム事業部	E69	テイアイティ	D22	ブライセン	F30
* エスクリエイト		キーエンス メトロロジ事業部	E73	THK	D15	ブラザー工業	D41
愛知産業		北川鉄工所	D06	DMカードジャパン	E96	ブラックス	E98
* スリーエム ジャパン	F22	キトー	D54	DMG森精機	E03	ブリヂストンソフトロボティクスベンチャーズ	E75
IDECファクトリーソリューションズ	F06	キビテック	F59	TMW	D37	フレアオリジナル	F08
アサ電子工業	E90	ギフノテック	F09	デジタルメディアプロフェッショナル	D45	ベッコフオートメーション	D09
Agile Robots	E01	キャプテンインダストリーズ	E28	* Kinco Electric (Shenzhen)		ペンギンソリューションズ	E38
アジリル	E30	京セラ	D38	DINGS' JAPAN	D60	北菱電興	D70
アスカ	E25	グリーンプラス	E61	データ・デザイン	E23	ボンダス・ジャパン	E94
アスク	E91	グローブ・テック	E79	テクノア	D17	ま	
アナログ・デバイスズ	E07	ケーエスエス	E44	テクノダイナミクス	E97	牧野フライス製作所	D49
アフレル	F45	コスモック	E36	テクノ21グループ	E20	松本機械工業	D43
安藤	E52	小原歯車工業	E15	TECHNO REACH	F07	マブチモーター	D63
IZUSHI	D23	近藤製作所	F44	テックロック	F38	三木プーリ	D10
井高		コンバム	D31	TechShare	E70	モニター	E54
* ネットスターロボットソリューションズ		さ		TECHMAN ROBOT	E26	MINEZAWA	F51
* マイクロスター・インターナショナル	F01	サトーパーツ	D19	Tebiki	D51	ムラキ	D57
* ネウロボティクス		SAWA	E47	デュコジャパン	D65	村田精工	D08
* Doog		三桜工業	E18	デンソーウェーブ	F03	明和eテック	F56
* 川崎重工航空宇宙プロダクションテクノロジー		三機	E81	東亜精機工業	E93	Mech-Mind	D02
イチグチ	D73	三共製作所	E85	DOBOT JAPAN	E04	モバイルインダストリアルロボット	E67
伊藤信産業		三協デザインソリューション	F62	トゥーワン	D66	モリタ	
* 上海軒特機械設備	D07	三柱製作所	D68	東京精密	E14	* データ・デザイン	F36
イネイブル	F25	三明	F33	東陽	F02	モリテック電機	D71
イマオコーポレーション	E89	山洋電気	E59	トーチャーマーケティングシステムズ	E57	MOLDINO	E19
イルメジャパン	D62	山陽マシン	E17	TRIART	E53	や	
イレイズグループ	F50	三和ロボティクス	F05	トライエンジニアリング	F18	安川電機	D39
イワタツール	F19	CMHベアリング	E50	トラスト・テクノロジー	D58	YATOMIエンジ	
インタコンポ	D35	CKD	E27	Troaxセーフティシステムズ	D64	* Airion	F43
インプローバ	D11	ジーニック	E92	な		* 佐友重機械工業 ドライブテクノロジーSBU	
A&Cサービス	F28	ジーベックテクノロジー	D30	NalTO	F47	柳瀬	E65
HCI	F11	ジェイテクト	D40	ナカニシ	E87	ヤマザキマザック	D05
エイテック	E13	シチズンマシナリー	E06	長堀工業	E21	山下機械	F16
エウレカロボティクス	E76	シナノケンシ	E10	中村留精密工業	E11	YUASA	
エージーアイロボット	D29	シュンク・ジャパン	E34	名古屋モーションコントロール		* オークマ	
ABB Robotics Japan	E35	Thinker	D33	* 湊ハマ	D36	* ミットヨ	
エクセディ	F46	新光電子	E49	* FAIR INNOVATION		* 北川鉄工所	F04
SMC	D04	進和		NACOL	D48	* 山洋電気	
エヌアイシ・オートテック	E51	* JAKA Robotics	D14	名高精工所	E56	* AITEN Robotics	
NTNテクニカルサービス	E45	スギノマシン	E29	銅屋パイテック会社	D50	* ロボットバンク	
エヌティーツール	D55	スターテクノ		新潟精機	D32	* Cistron	
エフ・アイ・ティ	F26	* スター精機	F14	ニコン	E60	ugo	E43
Effecto Group	D18	* 国盛化学		日伝	F29	YOODS	F57
FNS	E71	SmartOne	F41	日刊工業新聞社	E95	豊電子工業	F31
MES甲信	F15	Zrek		日進ProSQL	F53	ユニバーサルロボット	E67
MSTコーポレーション	D67	* Cominix	F52	ニッセイ	E78	ユニパルス	D53
M2X	E83	た		日鉄ックスエンジ	D46	横山商会	D69
エムティーシートレーディング		タイカ	D61	日東工器	E68	ろ	
* Eurotech Vacuum Technologies	D59	大喜産業	F35	日本精工	E82	ラヴォックス	E37
Elite Robots	E66	大昭和精機	E46	日本トムソン	E24	リックス	E41
遠誠	E08	ダイドー	E05	日本ベアリング	E80	リンケージ	F13
オイヒナー	D21	ダイトーエムイー	F10	日本システム開発	F55	レニショー	E31
オーエスジー	D24	ダイナミックツール	E72	日本ビスコ	E33	ロボット加工技術研究会	F20
オークマ	D03	Diver-X	E84	日本ローターパツハ	E48	ロボットテクニカルセンター	F12
太田廣	D44	ダイヘン	D01	日本ロボットシステムインテグレーション協会	E100	ロボティクスソリューションズ	F40
オーツカ光学	E32	高松機械工業	D52	ノガ・ウォーターズ	E77	* ミスミ	
岡谷銅機		田口鉄工所	F39	は		わ	
* 新工フエイコム	F21	竹中電子工業	E55	ハーモニック・ドライブ・システムズ	D28	和ロボ	F61
沖電線	D27	立花エレクトック	F48	ハイウィン	F34		
オムロン	D12	ダッソー・システムズ	F39	パスカル	F60		
オリエンタルモーター		タツタ電線	D56	八田製作所	E58		
* オリムベクスタ		中央工機		羽根田商会	E62		
オリオン機械	D72	* ユニバーサルロボット	F17	* テムザック			
か		中部地域Sler連携会	F64	浜松貿易	F24		
Kardex Japan	F63	中部部品加工協会		ピアブ・ジャパン	D16		
カサイ製作所		* フラクタル	F37	VISUAL COMPONENTS	E16		
* カサイエレクトック	F23	* ジェビーエムエンジニアリング		Vision Components	E40		
* マルセン		* 丸正精工		ファナック	F49		
カトウ工機	D47	ツガミ	D13	FingerVision	D20		

※(株)、(有)などは省略 ※「*」は共同出展者

